

区画整理内の工事における環境対策、創意工夫、安全性

岡村建設工業株式会社

坂本 健

工事概要

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| (1) 工事名 | 平成 20 年度 大覚寺 9-1 号線道路築造工事 |
| (2) 発注者 | 焼津市役所 |
| (3) 工事施工箇所 | 焼津市大覚寺八楠土地区画整理事業区域内 |
| (4) 工期 | 平成 20 年 9 月 12 日
平成 21 年 3 月 10 日 |
| (5) 工事施工者 | 岡村建設工業株式会社 |

本工事は、焼津市大覚寺八楠地区の区画整理事業内における道路の整備、拡幅をおこない、現況の水路の暗渠化、歩道の設置、あわせて配水管、ガス管の布設工事、道路の舗装施工をして生活のしやすい道路を造る目的であった。

社会性、環境対策

工事に先立ち現地の調査をおこなったところ、本工事が周辺の末端部であり完了後に本線が全線拡幅になる場所だったため、支線の道路は未舗装のまま、防塵処理での開放が多くあり近隣住民の方からの要望で道路の凸凹の補修、砂埃の処置について多数寄せられたため、事前に対策を計画した。

創意工夫

ボックスカルバート（H800×B700）の法線で折れ点が 3 箇所あったが、加工品の使用がないので、法線管理のしかたを考えた。また、現場打ち擁壁工においても折れ点があり、東名高速道路との境界の問題もありましたので、境界の管理のしかたを考えた。

安全性

工事箇所はもともと道路が狭く、畑や田んぼが多い場所などで地盤が悪くボックスカルバート設置作業をおこなう時のラフタークレーン（45 t 吊）の設置箇所が問題となった。

社会性、環境対策の実施

工事施工箇所及び周辺道路の凸凹を碎石の補充及び転圧をして、通行しやすいようにした。工事車両の通行経路の選定をし、多少の遠廻りにはなるが舗装道路の通行をおこなう。道路の状態を観察しながら散水車または、タイヤローラーを使用しての散水作業をおこない、記録簿に残し、実施状況を把握した。速度規制看板・徐行看板の設置をおこない工事関係者以外の車両にも徐行運転を促させた。以上のことを実施し苦情もなく工事を完了することができた。

創意工夫の実施

ボックスカルバートの法線は中心線管理ため、丁張だけに頼ることなく、あらかじめ法

